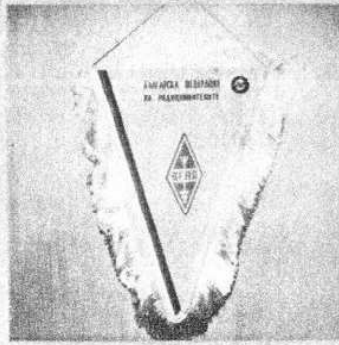


# L Z 1 R 訪 問 記

## JA2GZZ

### 古田 多津彦

BFRAからJARLへ手渡されたペナント



(CQ HAM RADIO 1986年6月号)

去る1月下旬に、商用で欧州へ出張し、ブルガリアに行きました。ブルガリアへの出張は、去年の4月に引き続き二度目のことで、去年果たせなかったセントラル・ラジオ・クラブ(BFRA)を訪問したので、レポートします。

#### 2月3日

夜ホテルに着き、荷物整理もせぬ間にLZ1DB Koryに電話。彼とは以前14MHzでQSOしており、当時、今度ブルガリアに行ったときはぜひ会いたいとの交信をしてあった。運よく彼が電話口に出たので、いきなり英語で「日本からきたJA2GZZ」と名のったところ、彼はビックリした様子だったが、QRXとのことで、彼はログを確認に行き再度電話口に戻ってきた。

それから彼と約30分話をし、最後にアイボールQSOしたいとの話になったが、急なことなので、Sofiaまでこれるか否かわからないとのことだった。

#### 2月4日

エコノミック・アニマルの一員であるJA2GZZは、深夜近くまで残業をし、アルコール変調ぎみでホテルに帰ってくると、フロントでメッセージを渡されたので、直感的にLZ1DBからと思ったが、内容は私のまったく知らない人からの伝言で、電話をかけてほしいとのことだった。いささか異国の地で知らない人が電話をしてくれとのことと何となくちゅうちょしたが、そこは大和男子。腹を決めて先方に電話「日本から来た古田ですが…」すかさず先方が自分のコールはLZ1KV Vと答えてきた。この声で張っていた緊張は一瞬にほぐれて、気がつくとアルコール変調も終わっていた。彼はセントラル・ラジオ・クラブの事務局長で、LZ1DBからの連絡で私に電話したとのこと。そしてLZ1DBがKazanlik(Sofiaから250km)より明日1100に私を訪ねてくるが、都合はどうかと

のこと。0900くらいにこれないかと問うと、電車が一日一便しかないのがNGとの返事。

#### 2月5日

朝早起きをし、仕事のアレンジ交渉を客先と必死に行い、1100と1600以降にフリータイムを作った。

1100にLZ1DBとLZ1KV Vがホテルに訪てきて、昼食抜きでアイボールQSOをした。彼らの招きで1600よりBFRA訪問を約束し、仕事に戻った。そして約束どおりBFRAを訪ねたところ大歓迎を受け、大感激「ハムってイイモンですね」。

私はどうも最初の日本人らしく、そこで少々カッコをつけて、私は公式訪問の気分でBFRAバイスプレジデントであるLZ1SS S.Kolarovと会談をした。ところが、彼は英語がNG。公式通訳はLZ1KV Vが行い、LZおよびJAの現状について会談した。

LZ1DB Kory。彼は、私に会うために250kmも離れた所から、会社を休んできてくれた、ちなみに電車は一日1回



LZ1SS Kolarov。BFRAのバイスプレジデント



LZ1KV V(右)、セントラル・ラジオ・クラブの事務局長

JA2GZZとブルガリアのYL局LZ1ZQ(右)



## 付記

- ハムの局数は'85年末の集計で1,030局。
- BFRAとは日本のJARLに相当する。
- クラブ局はLZ1Rの特別コールサインで、ほかにLZ1KABのコールも有するが、特別局識別のため、LZ1Rのみ使用している。
- 日本と社会組織が異なるため、職業としてアマチュア局運用にたずさわっている人がある。

本文中のLZ1KVVとは、Latinovのことで、彼はセントラル・ラジオ・クラブの事務局長とほかのクラブ局LZ1KVVの代表者の職を兼任している。

●免許体系は日本と同じく、1級、2級、ノビスに大別されており、ノビス級は講習会制度により取得できる。

●ブルガリアにおけるラジオ・スポーツ

### (1)ハイスピードCW

3グループ対抗でグループの内訳は男、女、子供とする。50字/分くらいからスピードを上げていく。

ちなみに去年度の記録は240/字分であった。

### (2)HFラジオ・スポーツ

ルールはほぼ日本国内のコンテストと同じであるが、リグは下記の条件を

左よりLZ1DB, LZ1KVV, LZ1SS, JA2GZZ, LZ1ZQ  
▼ブルガリアのワールドマップ



満していること。

ア) 自作機であること。

イ) RF出力5W以下(熱電対電力計で測定する)

### (3)VHFラジオ・スポーツ

前記HFラジオ・スポーツに準ずる。

### (4)Foxハンティング

Foxは145MHz帯と3.5MHz帯の2種があり、ルールなどは日本とほぼ同じ。

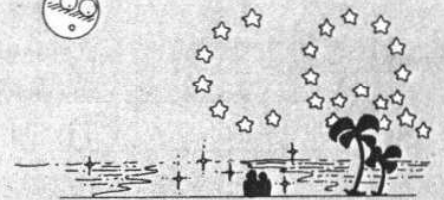
### (5)メッセージ・リレー

3局で構成し1st局は2nd局へメッセージを伝達して、2nd局は3rd局へ伝達、3rd局はこれを1st局へ伝達。その後、QSYをしてさらにもう1回り、メッセージ伝達を行い、最終メッセージ伝達までの時間および内容の正確さを競う。

### (6)シューティング

内容がよく理解できなかったが、どうもクレ射撃とラジオを組み合わせたスポーツのようである。

まず遠方にある的(皿)を10回ライフルで撃ち、次の場所まで2~300m走り、そこにあるリグの周波数キャリブレーションを行い、次に2~300m走って、そこにある皿を打つ。この競技はLZ, UA, HA, SP, OKおよび北朝鮮でさかんに行われているとのこと。



CQ HAM Radio 誌 1986年6月号 286~7頁

ブルガリア アマチュア無線連盟BFRA 訪問記